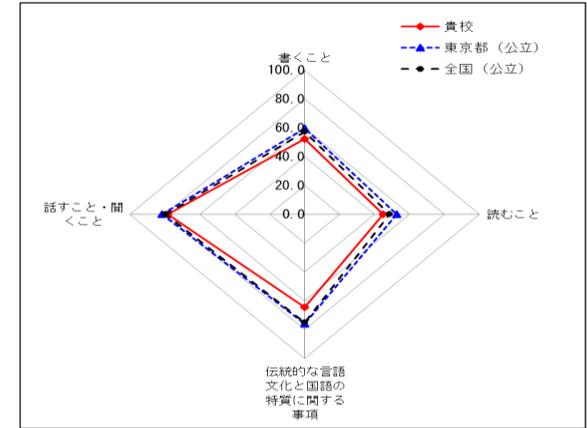


令和3年度全国学力・学習状況調査 【令和3年5月27日実施】  
江戸川区立南葛西第二中学校 問題別調査結果

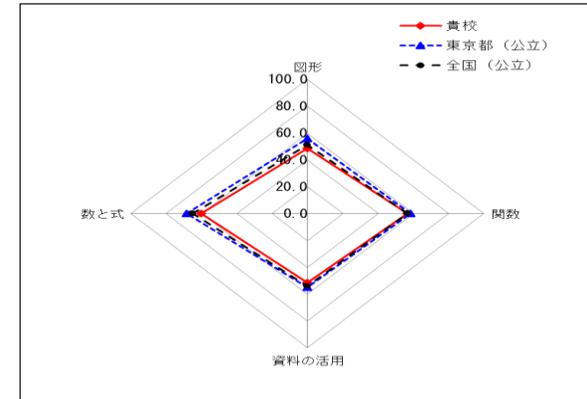
対象生徒数	江戸川区立南葛西第二中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	122	70,017	903,157

国語	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		14	59	67	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	78.4	81.9	79.8
	書くこと	3	52.5	59.7	57.1
	読むこと	4	44.7	52.5	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	64.5	76.1	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	49.6	59.2	56.0
	話す・聞く能力	3	78.4	81.9	79.8
	書く能力	3	52.5	59.7	57.1
	読む能力	4	44.7	52.5	48.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	4	64.5	76.1	75.1
	選択式	6	62.3	67.0	63.9
	短答式	4	64.3	75.1	74.4
	記述式	4	49.6	59.2	56.0

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



数学	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		16	54	60	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	60.3	68.5	64.9
	図形	4	48.6	56.0	51.4
	関数	3	56.6	58.1	56.4
	資料の活用	4	51.2	54.7	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	7	38.5	44.6	41.1
	数学的な技能	3	69.9	79.6	77.7
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	6	65.2	68.1	65.6
	選択式	2	53.3	55.6	52.4
	短答式	9	66.8	72.8	70.5
	記述式	5	32.5	38.8	35.0



国語	結果の分析	改善のポイント
	<p>全体では、東京都平均から－8ポイントの結果となった。領域別では「話すこと・聞くこと」では都平均よりやや下回ったが、「伝統的場言語文化等」では－11.6ポイントと学習内容の定着が見られない結果となっている。</p> <p>また、評価の観点では、特に「言語についての知識」に課題がある。回答形式からは、選択肢から正答を選ぶ問題では正解率が高いが、記述式や短答式では正答にたどり着かない生徒の割合が高かった。</p>	<p>1 国語への関心・意欲を高めるため、授業の導入や資料の提示方法等を工夫し、興味関心を高め、集中力を持続させる。</p> <p>2 漢字をはじめ言語事項の定着のため、家庭学習での課題を提示し、小テストを定期的実施していく。</p> <p>3 授業で使用するワークシートや定期考査の出題を工夫し、さまざまな出題や回答方法を繰り返し学習する。</p>

数学

数学	結果の分析	改善のポイント
	<p>全体では、東京都平均から－6ポイントの結果となった。領域別では「数と式」で都平均－8.2ポイント、評価の観点では「数学的な技能」で同－9.7ポイントと基本的な計算力が十分に定着していない生徒が多いことがうかがわれる。</p> <p>回答形式からは、選択肢から正答を選ぶ問題での正解率は比較的高いものの、記述式や短答式では正答にたどり着かない生徒の割合が高いので、数学的な思考力、判断力を高める必要があると考えられる。</p>	<p>1 基本的な計算力を高めるため、家庭学習課題を提示するとともに、小テスト等を定期的実施していく。</p> <p>2 数学的な思考力・判断力の向上のため、授業内において考える時間を増やし、他の生徒へ説明する機会を多く設ける。</p> <p>3 授業内において、習熟の程度に応じた課題や、発展的な課題を提示し、個別指導を充実する。</p>